

第1・2学年国語科学習指導案

平成17年11月28日(月) 5校時
 1年 男子1名 女子4名 計 5名
 2年 女子 2名 計 2名
 指導者 新宅まき

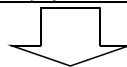
(第1学年)

- 1 単元名
くらべてよもう
「じどう車くらべ」
- 2 単元について
(1) 単元の位置とねらい
子どもたちはこれまでに「いろいろなくちばし」の学習で、説明されている事柄を正確に読み取ることや説明文の基本的なパターンである「問い 答え」の文型を学んできている。さらに、五十音や濁音、長音、促音などの学習や読み取りの学習を生かし、伝えたい事柄を整った文で書き表したいという願いをもっている。
そこで、本単元では、自動車の「しごと」と「つくり」という2つの事柄の因果関係を読み取ることができるようになることで児童に説明文の読みの楽しさを体得させると同時に、確かな言語能力を身につけさせることをねらいとしている。
「じどう車くらべ」は、この時期の子どもたちが好む自動車を題材に取り上げ、「話題・問題提起 問題に対する説明」という説明の仕方でも述べられている。まず前書きの文章で児童の関心をいろいろな自動車に誘っている。そしてそれぞれの自動車がどんな「しごと」をしているか、そのためにどんな「つくり」になっているのかを読者に問いかけ、疑問や着眼点を読み手に生まれるようになっていく。その視点を大事にしなが、それぞれの自動車の説明が「しごと」についてと「つくり」についてのまとまりから成っていることに気づかせたい。
ここでの学習は、「しごと」と「つくり」に着目して読むというように、読みの視点を明確にして読む学習活動である。これは説明文だけでなく文学の系列でも生かすことができるが、説明文の系列では、本教材で学習した方法や初発の感想及び疑問を生かしてねらいを設定し、より主体的に学習しようとする「どうぶつの子ちゃん」の学習へ発展するものである。

(2) 単元の系統

第1学年

〔いろいろなくちばし〕
 ・ 説明の正確な読み取り
 ・ 説明文の文型



〔じどう車くらべ〕
 ・ 読みのねらいを明確にした読み取り
 ・ 文章にまとめて書く

(第2学年)

- 1 単元名
大事なところに気をつけて
「サンゴの海の生きものたち」
- 2 単元について
(1) 単元の位置とねらい
子どもたちは、これまでに「じどう車くらべ」や「たんぼのちえ」などの学習で、因果関係のまとまりに気づいたり時間的な順序などを考えたりしながら内容の大体を読み取る能力を身に付けてきている。さらに、まとまりに注意しながら読み物を読んだり、自分が伝えたいことを相手にわかりやすく伝えるための表現を工夫したいという願いを持っている。
そこで、本単元では、事柄の順序を考えて読む中で様々な説明から中心的な対象や事柄に着目し、生きものたちがどのように関わり合っているのかを読み取ることや、おおまかに「はじめ」と「おわり」、さらには「中1」「中2」という文章構成を把握させることをねらいとしている。
「サンゴの海の生きものたち」は、これまでに読んできた説明文に比べ、説明に登場する生き物の数が多いことや「共生」という内容的にやや難解な要素を含んでいるなど説明がやや複雑になっている。第一段落の「互いに役に立つようにかかわりあって」の記述に着目させ、説明の中心的な事柄を見失わないようにすることで、中心となる生きものと、その関係性を理解させたい。
ここでの学習は、本題材が対象が2組4種類以上の生きものにわたり具体例1と具体例2は並列の関係であるのに対し、説明の対象が大きく2つで一方は時間の流れ、もう一方は並列という説明文を読み取る「一本の木」の学習へ発展するものである。

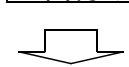
(2) 単元の系統

第1学年

〔いろいろなくちばし〕
 ・ 説明文の文型
 〔じどう車くらべ〕
 ・ 読みのねらいを明確にした読み取り
 〔どうぶつの子ちゃん〕
 ・ 特徴や違いを考えながら読む

第2学年

〔たんぼのちえ〕
 時間の順序や理由付け



〔サンゴの海の生きものたち〕
 ・ 中心的な対象や事柄に着目した読み取り

〔どうぶつの赤ちゃん〕
・ 特徴や違いを考えながら内容を読む。

〔一本の木〕
・ 確かめながら内容を読む。

(3) 児童の実態 (1年生 5名 2年生 2名)
【意識面】

調査項目	好き・・・ 嫌い					合計		2年児童		合計	
	1	2	3	4	5						
国語の好き・嫌い						5	0			2	0
その理由	たのしいから	こくごのおべんきょうがたのしい	かんじをおぼえられるから	たのしい	よむのがすき			ぼえられるかん字をたくさんおぼえられる	(暗唱) お話をおぼえられる		
領域の好き・嫌い	話すこと聞くこと					3	2			2	0
	ア 知らせたいことを話す					5	0			0	2
	イ 話をきく					5	0			2	0
	ウ 話し合うこと										
	エ 書くこと										
	ア 相手を考えて書く					5	0			2	0
	イ 書くことを集める					3	2			2	0
	ウ 順序を考えて書く					3	2			2	0
	エ 書いたことを読み返す					3	2			2	0
	イ 読むこと										
ア 本を読む					4	1			1	1	
イ あらすじをつかむ					4	1			2	0	
ウ 様子を考えながら読む					5	0			2	0	
エ 音読する					5	0			0	2	
授業の形態	教師の説明を聞く					5	0			2	0
	自分で考える					4	1			2	0
	発表する					5	0			2	0
	黒板に書く					5	0			1	1
	ペアで話し合う					5	0			1	1
	グループで話し合う					4	1			2	0
	個別指導(1対1)					5	0			2	0
	ワークシート					4	1			1	1
	漢字練習・テスト					4	1			0	2
	どんなとき国語が楽しいか(自由筆記)	よむとき	教科書を持って音読する	漢字のお勉強	音読するとき	読むのが楽しい			詩を書いたりノートに字をきれいに書いたりすること	文を書くこと	

【理解面】

調査項目	1年児童					合計		(正答 誤答)													
								調査項目		2年		合計									
								1	2	1	2	1	2								
ことばの理解度 荷台 つりあげる 車体						0	5	ことばの理解度 たがいに かかわり合い しょく手 おおわれる						0	2	0	2	0	2	0	2
つかい方 「～たり～たり」						1	4	つかい方 「でも」								2	0				
知っている自動車を 書きましよう。(台数)	4	7	6	1	2																
表記 拗音の言葉 漢字				x	x																

【考察】

～より、1・2年生ともに全員が国語の学習を「好き」と感じているが、領域別に見てみるとどの領域にも「嫌い」と答える児童がいる。好きな理由を見ても、各自が得意であったり自信をもって臨めていたりする領域の学習について挙げていることから、国語の学習への関心・意欲としては、内容によって差がある。しかし動作化を用いた劇へは意欲的に取り組み、登場人物の心情を想像する中、楽しく学習することができている。音読については、音読カードを活用し、特に1年生は家庭で継続的に取り組んでいる。また、読書への意欲は高く、朝の読書だけでなく、進んで図書室に通う姿も多く見られる。

1年生は、10月から日記に取り組んでいるが、書く題材を見つけることに苦手意識がある子どもがいるものの、「書く」ことへの意欲は高い。視写や漢字の書き取りなど楽しく取り組むことができるが正確さや丁寧さ、書くスピードには個人差があり、継続して指導を行っている。また、朗読の時間の発表を目標に、音読への意欲的な取り組みが見られる。これは暗誦できるようになった経験だけでなく音読カードを活用する中、家庭での賞賛から楽しさや喜びを味わうことができているからだとと思われる。この意識を支えに、新たな課題へも意欲的に取り組み、さらに「わかる」喜びや達成感を味わうことができるよう個に応じた指導を工夫し、正しく読む力を育てたい。

調査 ・ および普段の授業の様子から、発表に対する意欲はとても高いが、書いてあることを正確に読み取ることへは苦手意識や個人差が感じられる。書く指導の工夫と同様、全員が自分の考えを発表することや友だちの考え方と自分の考え方を比べながら聞く経験をさらに重ねるなどの継続的な指導が必要と思われる。また、感想発表や漢字練習で、少しずついろいろな学習形態やガイド学習的な場面を設けているが、自分たちで進めることに少しずつ慣れてきた様子も伺える。

調査 言葉の理解は低い。さらに調査より、および表記する力については

2年生は、4月当初と比べ、文字を書くスピードがついてきている。書くことに大きな個人差が見られていたが、丁寧に書こうとする姿勢が感じられ、徐々に正確さも身につくつつある。

読み取りという学習では、やや正確さに欠けるところが見られる。大事な言葉や文末表現に気づきながら読むことができるよう指導したい。

調査 から、自分が話をする事への意欲は高く、詳しく話す努力が感じられる反面、友だちの話に関心をもって聞くことや大事なことを落とさないように気をつけながら聞くということへは苦手意識があるようである。また、ノート・日記など、文を書いたら読み返すことを継続的に指導しているが、読み返しても間違いに気づくことができない様子も見られる。よくできるようになったことの賞賛を繰り返し自信をもたせつつ、正確さへの意識を高める指導を心がけたい。また、音読については、授業中の音読の様子は大変意欲的であるが、家庭での取り組みはやや消極的である。また現在これまでよりも長い文章の暗誦に挑戦してなかなか思うように進まない現状ということもあってか、これまであまり見られなかった音読への苦手意識が見られる。今後も賞賛や励ましを与えつつ、意欲を高めたい。

調査 より普段の学習でも一人調べからお互いの意見を交換するなど、協力して進めることができているが、ワークシートへの記入

個人差が出てきており，日常会話やノート・日記指導，読書など，あらゆる機会を捉えて言葉への関心を高め，意味や正しい字形・表し方などを理解させ定着を図り，活用できる力につなげたい。

また，調査にも，いろいろな自動車を知っているものの，自動車の種類という意味が理解できずに答えられない実態が表れている。

また，学習形態については，低学年という段階を考慮しつつ，直接指導の工夫と同時に教師の間接指導の在り方や，その段階における児童の学び方を，児童自身に身につけさせる必要がある。今後も各教科・領域における日々の学習を通して，工夫・改善していくとともに定着・向上を図りたい。

(4) 指導上の留意点

以上のような実態を踏まえ，本単元ではそれぞれ以下のように留意して指導する。

つかむ・みとおす段階では，自動車図鑑を作りたいという思いをもたせるために，知っている車の名前を挙げさせ，どんな自動車があるか話し合わせる。そして，教師が図鑑の表紙と見本の1ページ目を作製し，作り方を示しながら，自分の好きな自動車についてまとめていくことを知らせる。

また，自動車の名前を板書し，片仮名が多いことに気づかせるとともに，片仮名への関心を高めるようにする。

しらべる・ふかめる段階では，自動車の働きと作りを説明するために，「そのために」という言葉に着目させ，「しごと」と「つくり」は関係があること，それぞれのまとまりをつなぐ役目をしていることに気づかせる。また，片仮名については，平仮名や漢字同様，字形と筆順に気をつけて書くことを継続して指導し正しく読んだり書いたりできるようにする。

ふりかえる・いかす段階では，それまでの学習をもとに，自分の好きな自動車を選び，「しごと」「つくり」そして，それをつなぐ「そのために」という言葉を使ってまとめ自動車図鑑を作製させる。その際，挿絵や「しごと」「つくり」以外にも，気づいたことを自由に書かせる。

自動車図鑑作製にあたっては，個人差があるので，個に応じた必要な支援をし，どの子どもも自分のペースで進められるようにする。例えば，自動車が選べない子どもには，一緒に本をめくったり，どんな自動車が好きか話したりすることで決められるようにし，なかなか書けない子どもには，教材文をまねた簡単な組み立ての文を例示し，説明したいことを当てはめさせていく。進みが速い子どもに対しては，自分のペースでやってよいことを話し，カードを増やしていくことを勧める。その際，書いた文を読み返す作業を徹底させるなどである。

また，できあがった図鑑は，製本し，友だち同士で交換して読み合い，感想を伝合うようにする。

となると問いの意味理解や大事なことを絞ることなどに時間がかかることもある。落ち着いて読む習慣を身につけさせたい。

調査より，言葉の理解度は低い。特に本文の言葉については，難解なものも多いので，画像と意味を調べられる教材を作り，読み取りを支援したい。

つかむ・みとおす段階では，単元全体の学習の流れをしっかりとつかませたいので，学習計画を立てる場面を1年生とずらして設ける。(1年生が前単元のまとめをしている段階で，学習計画を話し合う。)

本文には2年生にとってはやや難解な語句が多く出てくるので，読みの活動の際，教科書の挿絵の掛図だけでなく，パソコンを活用し子どもたち自身で調べ学習ができるような手立てをする。

また，実態調査から，児童は海の生きものについては水族館で見たことがある程度で，あまり知らないもので，町立図書館から借りてきた本を教室に置き，海の生きものへの興味・関心を高められるようにする。

単元の大きな見通しをもたせるために，教材の問題提示文，写真などから，「何と何がどのようなかわり合いをしているか」を調べるといふ，読みの視点をもたせるようにする。

しらべるふかめる段階では，何について調べるのかを常に意識できるように中心課題と学習計画を掲示し進める。

まず，「イソギンチャクとクマノミの体の仕組みや関わり合いについて読み取る」という読みの視点と「その理由」などを読み取る際に気をつける文末表現や言葉などについてしっかりおさえる。そして，この学習経験をもとにして，次のホンソメワケベラと大きな魚の関わり合いについては，子どもたち自身の力で読み取り，まとめていくことができるようにしたい。

また，調べて分かったことを，それぞれの生きものになりきって台詞を考え，役割演技をする劇化をすることで，関わり合いについての感想をもったり，まとめに生かしたりできるようにしたい。

ふりかえる・いかす段階では，単元に入る前から読んでいた本などから好きな魚を選んで，調べたことを図鑑にするためのカードを書くことをおさえる。

これまでの学習で書いてきたカードなどをもとに，分かりやすく書くための工夫に気づいて表現できるよう指導する。その際，

3 目 標

- (1) 自動車の仕事と作りの関係に興味をもって読もうとしたり，ほかの自動車を説明する文章を書いたりしようとする。(関心・意欲・態度)
- (2) 仕事と作りの関係を考えながら，内容の大体を読むことができる。(読む)
- (3) 簡単な組み立てを考えて，好きな自動車の仕事と作りを説明する文を書くことができる。(書く)
- (4) 片仮名で書く語を読んだり書いたりすることができる。(言語)

3 目 標

書いた文を落ち着いて読み返したり，お互いに読み合ったりして，正確に分かりやすくできているか確かめながら仕上げさせる。

- (1) 海の生き物の共生関係や，説明文の組み立てに興味をもって読もうとしたり，本を読んで読み取ったことを文と絵に分かりやすくまとめたりしようとする。(関心・意欲・態度)
- (2) 書かれている事柄の順序を事象の説明とその理由の説明とに区別して捉えることができる。(読む)
- (3) 読み取ったことを「～は～のおかげで～」という表現で説明することができる。(書く)
- (4) 片仮名を読んだり書いたりし，片仮名で書く語を文や文章の中で使うことができる。(言語)

4 指導・評価計画(「じどう車くらべ」全8時間・「サンゴの海の生きものたち」全10時間)

過程	学習課題・主な学習活動(1年) ・・・評価の内容	過程	学習課題・主な学習活動(2年) ・・・評価の内容
つかむ・見通す	<p>1 単元を概観し，学習のめあてを話し合い，学習計画を立てる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>「じどう車くらべ」に出てくる自動車の仕事と作りを正しく読み取って比べたり，自動車図鑑を作ったりしよう。</p> </div> <p>2 学習計画を話し合う。 興味をもって読み，仕事や作りについて気づいたことを発表している。【関心...発言・観察】</p>	つかむ・見通す	<p>1 単元を概観し，学習のめあてを話し合い，学習計画を立てる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>登場する生き物たちの特徴や関わり合いについて読み取ったり，海の生きもの図鑑を作ったりしよう。</p> </div> <p>2 学習計画を話し合う。 興味をもって読み，写真をよく見て気づいたことを発表している。【関心...発言・観察】</p> <p>3 読みの活動の際，難解な語句について調べ学習をする。</p>
調べる・深める 本時 3/8	<p>3 どんな「しごと」をしているのか，どんな「つくり」になっているのか，2つのまとまりで構成されていることに気づき，読み取る。</p> <p>(1) バスと乗用車の「しごと」と「つくり」を確かめる。 ・「そのために」という言葉の役割を考える。 ・画用紙に視写し，絵を加えカードを作る。</p> <p>(2) トラックの「しごと」と「つくり」を確かめる。 (カードづくりまで)</p> <p>(3) クレーン車の「しごと」と「つくり」を確かめる。 (カードづくりまで)</p> <p>それぞれの自動車の仕事と作りを理解している。 【読むイ...発言・カード】 片仮名を正しく読んだり書いたりしている 【書くイ-(ア)...観察・カード】</p>	調べる・深める 本時 5/10	<p>4 登場する生き物の特徴や関わり合いを読みとる。</p> <p>(1) イソギンチャクとクマノミの体の仕組みを調べ，関わり合いを読み取る。</p> <p>(2) イソギンチャクとクマノミの関わり合いを整理し感想を発表し合う。</p> <p>(3) ホンソメワケベラの体の特徴や大きな魚との関わり合いを読み取る。</p> <p>(4) ホンソメワケベラと大きな魚の関わり合いを整理し感想を発表し合う。</p> <p>登場する生き物の特徴やかかわり合いなどについて，叙述に即して正確に読み取っている。 【読むイ...観察・ワークシート】</p>

ふりかえる・いかす	<p>4 乗り物の本を読んで「仕事」と「つくり」を知り、自動車図鑑を作る。 (1) 自動車の本を探して読む。 (2) 「しごと」と「つくり」を知る。 (3) カードを作る。 (4) 視写したカードと作ったカードを合わせて綴じて図鑑を作る。</p> <p>教材文を参考にして、好きな自動車の「しごと」や「つくり」を文章にまとめている。【書く(イ)...カード】</p>	<p>5 本を読んで調べたことを図鑑にまとめる。 (1) 教材文に出てきた生き物について振り返り、海の生き物たちへの感想や疑問・もっと知りたいことなどを話し合う。 (2) 海の生き物の本を探して読む。 (3) 読み取ったことを文と絵にまとめ工夫してカードに書く。 (4) 読み合って間違いを直したり、よさを見つけたりする。 本を読んで生き物の特徴をとらえ、伝えたい事柄をわかりやすくまとめている。【書く(イ)...カード】</p>
-----------	---	--

5 本時(1年「じどう車くらべ」3/8, 2年「サンゴの海の生きものたち」5/10)

- | | |
|---|---|
| <p>(1) 目標
自動車の仕事と作りに興味をもって読み、トラックの「しごと」と「つくり」を読み取ることができる。</p> <p>(2) 本時の指導にあたって</p> | <p>(1) 目標
ホンソメワケベラと大きな魚のかかわり合いについて、叙述に即して正確に読み取ることができる。</p> <p>(2) 本時の指導にあたって</p> |
|---|---|

ア 間接指導の学習活動を児童が主体的に進めることができるように、おおまかな学習の流れを板書やワークシートで示しておく。さらに効率的に学習が進められるように導入段階では2年生はガイドさんを中心に学習を進めておく。





<p>イ つかむ・みとおす段階では、漢字練習に取り組みさせた後、前時に作製したカードやまとめをもとにバスや乗用車の仕事とつくりについて想起させる。そして、本時の学習内容とともに、学習の進め方を確認する。</p>	<p>イ つかむ・みとおす段階では、前時のまとめを読む。本時で学習する場面を音読する。めあての確認までを進めておく。その後、教師と一緒に、本時の学習の進め方を確認し、学習活動に入る。</p>
---	---

<p>ウ しらべる・ふかめる段階では、前時同様、音読 視写 絵をかく作業を通して、トラックのしごとやつくり気づくことができるようにする。その際、「そのために」ということばに着目して読み進められるよう支援する。手順としては、「そのために」を見つけて、その前後に書かれている自動車のしごととに赤、自動車のつくりには青で線を引かせるようにする。</p>	<p>ウ しらべる・ふかめる段階では、前時の学習活動をもとにして、各自でかかわり合いについて読み取っていく。その際、接続語の使い方や書かれている事柄の順序の理解、事象とその理由の説明の区別について意識したり気づいたりできるようなワークシートを用いる。かかわり合いをまとめる際は「～するために～している」や「～のおかげで～いる」のような表現ができるように指導する。また、それらをもとにして、それぞれの生きものになりきって、一緒にいるとどんなよいことがあるか台詞にして劇化させ確かめるようにする。</p>
---	--

<p>エ ふりかえる・いかすの段階では、本時で調べてまとめたことと、前時にまとめたカードをつかって、バス・乗用車と、トラックのしごとやつくりについて比べたり、違いに気づきながら音読したりできるようにする。</p>	<p>エ ふりかえる・いかす段階では、読み取って分かったことを全体でまとめ、次時にはこれらの関わり合いと各自の感想をまとめることを知らせる。</p>
--	--

オ 重点評価項目は理解なので、「どのようなことを読み取ることができたか」について自己を振り返らせる。また、ワークシートに、一人調べにおける理解がどうであったかをチェックしておく工夫をするなどして自己評価も取り入れたい。また、わかったことや感想を発表しあう中、一人ひとりの取り組み意欲や姿勢、がんばりなどを賞賛し、これからの学習への意欲を高めていくことができるようにする。

(3) 実 際

過程	評価 準備	主な学習活動(1年)	教師の 位置 時間(分)	主な学習活動(2年)	評価 準備	過程
つかむ・みとおす		1 漢字の練習をする。 ・グループ学習 2 前時の学習を振り返る。 前時のカード 3 本時のめあてを話し合う。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">トラックのしごととつくりをしらべよう。</div>	5	1 前時の学習を振り返る。 2 学習計画をもとに学習内容を確認し、学習のめあてを話し合う。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">ホンソメワケベラと大きな魚のかかわり合いについてしらべよう</div>		つかむ・みとおす
しらべる・ふかめる		4 教材文を音読し、学習の進め方を確認する。 5 トラックのしごととつくりを読み取る。 (1) ひとりで調べる 教材文を音読する。 「そのために」を見つけて、その前後に書かれているしごととつくりの線を引く。 ワークシートに書く。 読み返す。 赤・青色鉛筆 (2) カードにまとめる。 視写する。読み返す。  文をもとに絵をかく。 6 しごととつくりについてまとめたことを確かめながら音読する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">トラックは、にもつをはこぶためにひろいにだいになっている。おもいにもつをのせるトラックには、タイヤがたくさんついている。</div>	1 2	3 学習の進め方を確認し、ガイドを中心に取り組む。 (1) 音読する。 (2) ホンソメワケベラのそうじについて調べる。 挿絵・ノートパソコン (3) それぞれの生きものの気もちを考え、ふき出しに書く。 4 生きものたちになって、動いたり説明したりする。 ペープサート・絵 5 ホンソメワケベラと大きな魚のかかわり合いをまとめる。 ホンソメワケベラと大きな魚が一緒にいるとよいことは何か、それぞれについて読み取ることができている。【読むイ...ワークシート】 6 まとめたことを発表し、音読する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">大きな魚は、体や口についた虫をホンソメワケベラにきれいにとってそうじをしてもらおう。ホンソメワケベラは、大きな魚の体や口についた虫を、食べ物としてもらおう。このようにホンソメワケベラと大きな魚はかかわり合っている。</div>	1 5	しらべる・ふかめる
ふりかえる・いかす		7 バス・乗用車とトラックのしごとやつくりの違いについて話し合い、まとめる。 <div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 10px; display: inline-block;">しごととつくりはかんけいがあるんだね。 </div>	8	<div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 10px; display: inline-block;">おたがいに役に立つことをしあっているんだ。 </div> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 10px; display: inline-block;">どちらにとってもよいことがあるんだね。 </div>		ふりかえる・いかす
		8 本時の学習について振り返り、次時の学習について確認する。	5	7 本時の学習について振り返り、次時の学習について確認する。		